

小平市青少年委員だより

# はつらつ

— 編集：小平市青少年委員会 発行：小平市教育委員会教育部地域学習支援課 —  
042 (346) 9834

## 青少年委員研修会



令和4年2月4日(金)、青少年委員の研修を市役所会場とテレビ会議システム(Zoom)で「手話グループ・トライ」代表 川里やすみさん(ろう者)を講師としてお迎えし、手話について講義と実践を通して学びました。

聴力障害の方と出会った時の対応方法を学ぶために、今回の研修を企画しました。聴力障害の方は、見た目は健常者と変わらず、理解してもらうのが難しいということです。コミュニケーションの手段は、手話・筆談・目を見る・口の動き・身振りなど、様々な方法を使います。実践で行った口の動きでは、母音が同じ言葉はとても分かりにくかったです。また、手話は万国共通ではないそうです。日本では、主に日本手話が使われています。日本語と同じようにどのようなことでも話ができます。ことわざに「目は口ほどに物を言う」とあります。マスクをしている今こそ、相手の目を見て、手話や身振りなどで伝えることで、障害のある方に少しでも寄り添えれば、この研修が有意義なものになると思います。



## 「小平市を歩く」シニアリーダー養成講座

令和3年11月28日(日)シニア受講生にとっては、開講式以来初の対面による講座開催になりました。10月10日にリモート講座としてウォークラリーについて学びましたが、今回はその実践編です。

新たに作成された中央公民館発の3つのコースを、2~3人ずつ約80分、4つのグループに分かれて歩きました。久々に会えた喜びと、コマ図を見て相談しながら歩く楽しさを味わうことができました。講評と結果発表の後は、賞品や参加賞を選んで再会を約束し解散となりました。



## 「小平市を歩く」ジュニアリーダー養成講座

令和3年12月12日(日)ジュニア受講生も、開講式以来初の対面による講座になりました。4月の開講式以降、リモート講座が続いていましたが、シニア同様にウォークラリーを行うことができました。

22名の受講生が中央公民館から8つのコースに分かれて出発、それぞれ異なるスタート地点からゴールである中央公民館前広場に戻ってきました。コマ図を見ながら歩くことが初めての受講生たちは、交通安全にも注意しつつ、一生懸命に目印を探したりお互いに声を掛け合ったりしながら楽しんでいました。

## 「閉講式」リーダー養成講座

令和4年3月6日(日)今年度最後の講座がリモートで開催されました。シニア受講生9名、ジュニア受講生18名の参加者はリモートにはずいぶん慣れているようで余裕の様子が見られました。

シニア受講生の進行で「一文字入れ替えゲーム」「この色な〜んだ?」「私は誰でしょう?」のレクリエーションを行いました。画面をチェックしながら回答者を指名したり、マイクをオン、オフしたりとリモートならではの進行の難しさはありましたが、画面にうつる参加者は回答に悩んだり笑顔が見えたりとなかなか楽しいレクリエーションになりました。

一年の活動の振り返りでは、リモートでの講座の様子やコマ図を使って市内を歩いたウォークラリーの写真を共有して見ることができました。そして全員で記念撮影し、また来年度元気に活動できることを願って閉会となりました。



## 青少年委員会ホームページ更新されております!

小平市青少年委員会のホームページを見れば、活動の様子、今後の活動予定や「青少年委員ってなあに?」「どのような活動をしているの?」などの

疑問も解決することができます。原則、毎月1回情報を更新しているので、チェックしてみてください。

スマートフォン等はQRコード読み取りからのアクセスが便利です。よろしくお願いします!



QRコード



<http://www.kodaira-net.jp/ksi2006/>